おばあちゃん、僕たちからのメッセージです

福祉のためにと百万円

屋形の佐瀬哲司さん

7月2日、屋形に住む佐瀬哲司さん（前町長）より、「福祉のために使ってください。」と町に百万円の寄付がありました。

横芝町でも高齢化が急激にすすんでいますので、これからの福祉事業に有効に活用させていただくことにしています。ありがとうございました。

おじいちゃん・おばあちゃん 元気で長生きしてね

福祉のつどい大総小域圏ネットワーク

『校庭のくすの木のように、いつまでも元気で長生きしてください。そして、すてきな大総とわたしたちを守ってください。』――これは7月6日、大総小学校体育館で行われた〝福祉のつどい〟のなかで、子どもたちからお年寄りに向けられたメッセージ。

この催しは、大総地域に住むお年寄りのみなさんに楽しんでいただこうと、福祉教育に力を注いでいる大総小学校（内山秀夫校長）と大総小域圏福祉ネットワーク（小関喜保会長）の企画で行われたものです。

当日は、小雨降るあいにくの天気でしたが、参加したおじいちゃんおばあちゃんは、この日を心待ちにしていたようすで、1時間前から会場に集まっていました。

開会のセレモニーのなかで、「元気で長生きしてください。」と書かれた子どもたちの寄せ書きが手渡されると、おじいちゃんおばあちゃんはとても大切そうに抱えていました。そして、第一部の陸上自衛隊高射学校音楽隊による演奏が始まりました。

子どもたちの好きなアニメのテーマ曲から昔の歌謡曲まで――、子どもからは曲に乗っての大きな手拍子が、そして、おじいちゃんおばあちゃんは足でリズムをとりながら、当時の歌謡曲を口ずさみ、昔をなつかしんでいるようでした。

こうしたなか体育館の外では、朝早くから、婦人会や栄養改善推進員などのみなさんが、お年寄りをもてなそうと、カラミもちやしるこ作りに一生懸命取り組んでいて、出来上がったばかりのアツアツもちが、次々と配られていました。

昼食を交えて第二部がスタート。第二部では、地域のみなさんが大勢参加しての舞踊や民謡、カラオケなどが披露され、参加したみなさんは、まさに子どもからお年寄りまで、地域の人たちが一体となっての〝福祉のつどい〟を、終日、楽しく過ごしていました。

すばらしい演奏が体育館中に響きわたります

つきたてのおもち
私も食べたいわ

とかく若いときは、「福祉」という文字に無関心ですが、わたしたちもいずれはお年寄りの仲間になるのです。

みんなで助け合い、よりよいまちづくりをすすめたいものですね。